

この機会に障害について理解を深めましょう。今回は内部障害についてご紹介します。

Q.内部障害ってなに？

内部障害とは、内臓などの機能が低下している状態であり、心臓、腎臓、呼吸器、膀胱・直腸、小腸、免疫、肝臓の7つの障害があります。

内部障害を持った人は、進行性の疾患を伴った人が多く、治療のため通院しなければならなかったり、その日によって大きく体調が変化したりと様々な不便があります。また、共通の悩みとして、外見からは障害を持っていることをわかってもらえないということがあり、電車やバスの優先座席に座っていても注意されるなど嫌な思いをすることもあります。彼らの日頃からの苦労や不便を十分に理解し対応することが大切です。



ハート・プラス マーク
(身体内部に障害がある人)



オストメイトマーク
(人工肛門・人工膀胱用の設備を備えています)

Q.ヘルプマークってご存じですか？

ヘルプマークとは、内部障害や難病等外見からはわからない援助を必要とする方々が支援を受けやすいようにと作成されたマークです。ヘルプマークを身につけた方を見かけた場合は、電車・バス内で席を譲る、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプマークは福祉課障害福祉係で配付しています。ご希望の方は担当までお越しください。



第29回有田市文化賞

この賞は、本市文化の発展に貢献したと認められる個人または団体に対し、その功績をたたえ市長が表彰するもので、本市における地域文化の向上と振興を図ることを目的に平成5年に制定され、今回で29回目の表彰となります。

11月12日（金）に表彰式を行い、次の方々を表彰しましたので、ご紹介します。

幼い頃から絵画を得意とし、心に火を灯すような絵本づくりをめざして創作活動に努めてこられた。水彩絵の具と色鉛筆などを画材とし、独特の透明感と優しい印象を与える絵画や作品を多数制作されている。

文化奨励賞受賞後も積極的に著名な絵本作家の指導を受けるなど、厳しい自己研鑽に努めている。

令和元年には、全国各地から多数の応募がある「有田川町絵本コンクール」で、いのししの「イー」が有田郡市の各所を駆け抜けながら力強く生きるラプストーリー「ながみねのイー」が優秀賞を受賞。本年6月には、自身が学ぶ「絵話塾」ICHIGO会展（於神戸）で新作約10点を発表されるなど、精力的に活動されている。

また、地域のイベントのポスター原画やロゴの作成など、地域の方からも多数の制作依頼があり、それらすべてに真摯に向き合い、快く引き受けられるなど、幅広く活躍されている。

現在も新しい作品を手がけられるなど、絵本の制作を通じて地域の文化振興に大きく貢献されている。



みやもと かずみ
宮本 和明氏

文化功労賞

水墨画家の小川華（おがわ）画伯に師事し、練習を重ねるうちに、水墨画の奥深さにのめりこみ、これまで研究、鍛錬を重ねられてきた。

平成8年には、水墨画の良さを広めたいという思いから、師とともに和歌山県水墨画協会の設立に尽力された。

平成14年、15年には、「文化交流使節団」として中国・山東画院との交流会や交流展に参加。平成26年には熊野古道の世界遺産登録10周年を記念した「水墨画で描く熊野古道展」の実行委員を務められるなど、幅広く活動されてきた。

現在は師とともに設立した「華水会」のほか、水墨画サークル「磨きの会」を開講。地域の方に水墨画に親しんでもらおうと熱心に指導され、年1回のグループ展や本市の文化祭などで生徒とともに自身の作品も披露されるなど精力的に活動されている。

「絵を磨くこと」によって人生を磨くこと・楽しく挑戦し続けること」を念頭に、「筆のご縁」を大切にしながら水墨画の魅力を広げ、本市文化の向上発展に長きにわたり貢献されている。



ほそかわ すまこ
脇中 須磨子氏
雅号：須方

文化奨励賞

3歳から日本舞踊をはじめ、花柳芳登紀巳氏に師事。老人ホームや刑務所の慰問活動なども経験され、昭和52年に花柳流家元から紀巳咲の苗字が許された。

その後も精力的に芸の道を磨き、昭和57年に師範となる。以来、子育てや家業であるみかん作りの手伝いに奮闘しながら、多くの弟子を育てられてきた。懇切丁寧な指導には定評があり、厳しい中にも和気あいあいとした雰囲気、日本舞踊の魅力を幅広い世代に伝えることに尽力されている。

これまで、「一門「よしみ会」の発表会をはじめ、国民文化祭への出演、先月行われた「紀の国わかやま文化祭2021 川柳の祭典」のオープニングを飾る祝舞など、市内外で数々のステージを経験されてきた。

また、長寿祭や「ねりんピック」の民謡交流大会でオープニングを飾った「有田みかん摘み唄」の振り付け指導など、幅広く活動されており、地域文化の振興に大いに尽力されている。



まつもと みつこ
松本 巳津子氏
芸名：花柳 紀巳咲

文化奨励賞

子育て応援の輪を広げよう！！

ファミリー・サポート・センター事業は、子育ての応援がほしい人（利用会員）と子育てを応援したい人（サポート会員）をつなぎ、地域の中で子育てを応援していく事業です。

●保育サポーター養成講座

日時 1月19日・26日、2月2日・9日・16日（水）
13時～17時30分

場所 福祉館なごみ 2階研修室

内容 事業概要、応急手当、身体の発育と病気、子どもの世話（実習）ほか

対象 市内在住で子育てに関心のある20歳以上の方

定員 20人程度

受講料 無料

託児 無料（事前申し込みが必要）

▼利用会員も募集中（まずは登録から）

- ・保育所、幼稚園、学校などへの送迎と前後の預かり
- ・病院、冠婚葬祭、買物などの外出時の預かりなど

☎ 有田市ファミリー・サポート・センター「愛あい」
（福祉館なごみ2階） Tel. 88-6768

新型コロナワクチン接種



●ワクチンの追加接種（3回目）について

現在、国では新型コロナワクチンの追加接種（3回目）について検討が進められています。

追加接種が開始された場合、接種体制が変更となる場合がありますので、1回目の接種をご希望の方は、お早めに接種医療機関へご予約ください。

●接種医療機関

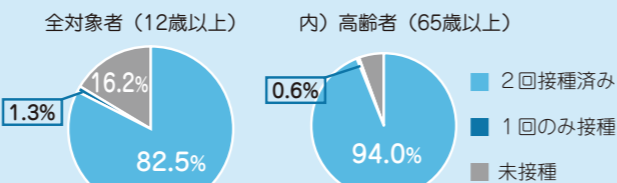
○垣本内科医院

- ・対象 満12歳以上 ※妊婦の方も可
- ・予約方法 LINEまたは電話（Tel. 88-6660）

○利光こども医院 ※空き状況により15歳以上も可

- ・対象 12歳～15歳（中学生）以下
- ・予約方法 電話（Tel. 83-6331）

【参考】有田市のワクチン接種状況（11月11日時点）



☎ 新型コロナワクチン接種推進室 Tel. 82-5360